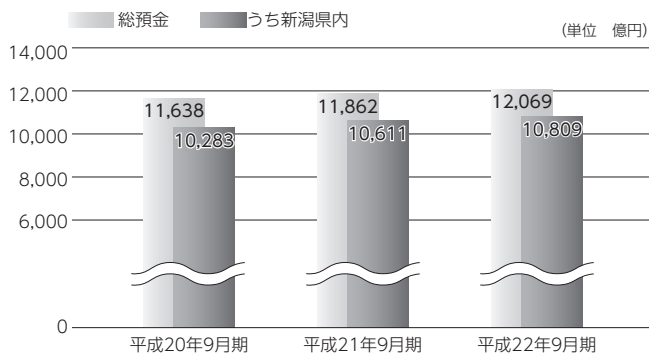


平成22年度中間決算ダイジェスト (単体)

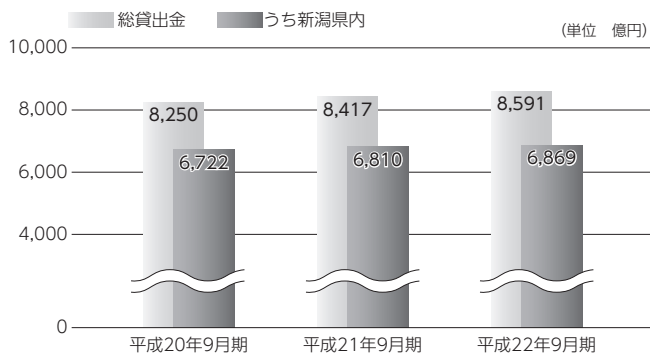
■ 預金残高



預金残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年同期比207億円増加の1兆2,069億円となりました。

新潟県内預金残高は前年同期比198億円増加の1兆809億円であり、県内預金比率は90%です。

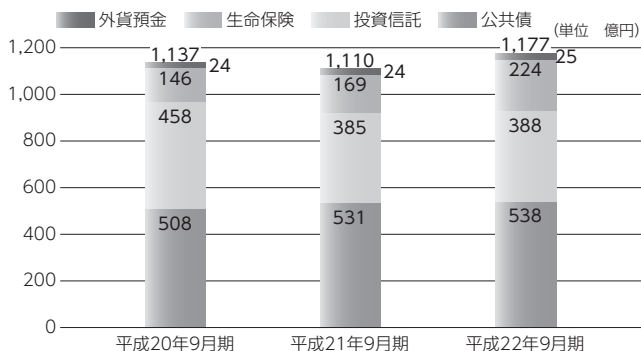
■ 貸出金残高



貸出金残高は、事業者向け貸出が増加したことなどから前年同期比174億円増加し、8,591億円となりました。

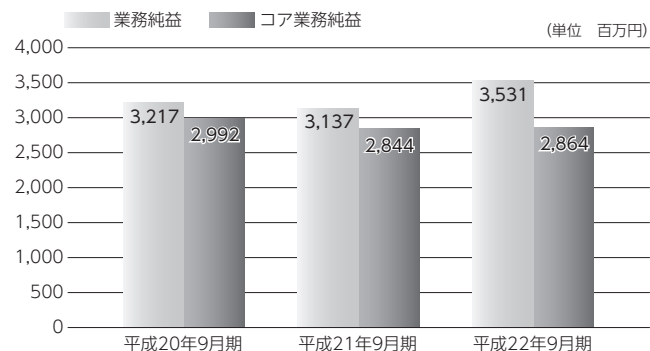
新潟県内貸出金残高は前年同期比59億円増加の6,869億円であり、県内貸出比率は80%です。

■ 預り資産残高



預り資産残高は、一時払終身保険等の生命保険が順調に増加したことなどから前年同期比67億円増加し、1,177億円となりました。

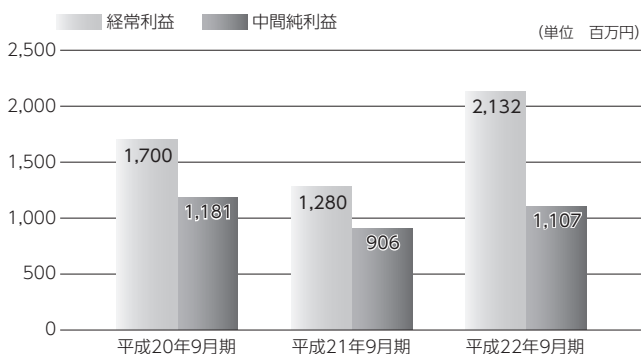
■ 業務純益・コア業務純益



業務純益は、一般貸倒引当金の戻入超過額が業務純益のプラスとして計上されたほか、役務取引等利益の増加などから前年同期比3億94百万円増加し、35億31百万円となりました。

コア業務純益は、前年同期比20百万円増加し、28億64百万円となりました。

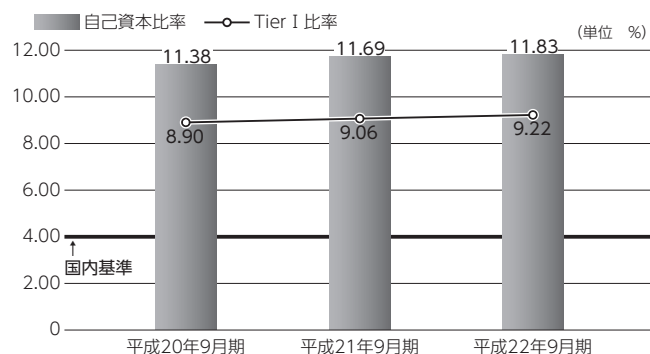
■ 経常利益・中間純利益



経常利益は、業務純益の増加や不良債権処理額の減少などの増益要因が、株式等関係損益の減少などの減益要因を上回ったことから前年同期比8億52百万円増加し、21億32百万円となりました。

中間純利益は、特別損益の減少や税金費用の増加といった減益要因がありましたが、前年同期比2億1百万円増加し、11億7百万円となりました。

■ 自己資本比率・Tier I 比率



自己資本比率は、前年同期比0.14ポイント上昇の11.83%となり、高い健全性を維持しております。

自己資本のうち基本的項目だけで計算した単体のTier I 比率は9.22%であり、引続き十分な水準を維持しております。